

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部	
	04030-1	再資源化促進事業	室名	廃棄物対策室	
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財会計	一般会計
		基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務款	衛生費
		施策の方向	03:ごみの減量化、リサイクルの推進	科項	清掃費
戦略プロジェクト		目目	塵芥処理費		

②目的・概要	対象	市民、事業者
	目的	市民や事業者の自主的な資源物の集団回収活動の促進を図るとともに、市自らも回収した廃棄物の再資源化を進め、資源物の有効利用と環境への負荷の低減に努める。
概要	<ul style="list-style-type: none"> 資源物集団回収活動報奨金等の交付 不法投棄された家電リサイクル法対象品と消火器の適正処理 瓦礫等溶融不適物処理業務の委託 資源物整理業務の委託 廃蛍光管等処理業務の委託 	

			27年度	28年度
①	名称	資源物集団回収量	計画値	
	補足	登録団体による集団回収活動で回収された資源物量	実績値	610
			単位	トン
②	名称	一般廃棄物のリサイクル量	計画値	
	補足	一般廃棄物のうち資源物としてリサイクルされた量	実績値	6,770
			単位	トン
③	名称	一般廃棄物のリサイクル率	計画値	
	補足	一般廃棄物排出量に占めるリサイクル量の割合	実績値	37.00
			単位	%
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績					
④事業の計画・実績					【資源物集団回収活動報奨金等の交付】 集団回収量・報奨金等交付額 609.681トン・3,060,159円 【瓦礫等溶融不適物処理業務委託】 コンクリート屑等リサイクル量 60.75トン 【廃蛍光管等処理業務委託】 廃蛍光管等リサイクル量 5.59トン 【不法投棄家電5品目及び消火器のリサイクル処理】 家電リサイクル台数 32台、消火器リサイクル本数 72本 ・一般廃棄物のリサイクル量 6,770トン				
	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	3,792	平均給与額×③
		事業費		8,321	7,316	一般職員人件費 ②	3,792		
		国庫支出金				所要人員 ③	0.50		
		県支出金				臨時職員人件費 ④	0		
		地方債				受益者負担額 ⑤	0		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額		0	0				
		前年度からの繰越額		0	0				
		総人件費		①	3,792				
	総コスト		⑥	11,108					

⑤事業の評価	【事業の成果】	資源物集団回収活動報奨金交付制度では、交付対象回収量は前年度と横ばいの状況であったが、活動団体数は毎年増加しており、廃棄物の再資源化に対する市民の意識高揚に資することができた。また、使用済小型家電の回収・リサイクルを本格施行し、リサイクル量も前年度を大幅に上回り、希少金属の有効活用にも資することができた。その他、総合環境センターに搬入された羽毛布団やその他色びんなどもピックアップ回収し、再資源化の拡大に努めた。	総合判定	B
			まずまず進んだ	
		【改善の方向性】	ここ数年一般廃棄物の排出量は減少傾向にあることから、それに伴い古紙類などの直接資源化量や金属屑、溶融生成物などの処理後資源化量にも影響し、リサイクル量・リサイクル率ともに前年度数値を下回った。現在、ピックアップ回収を行っている資源物など直接資源化できる品目の分別回収等の拡大を図る必要がある。	
	【改善の方向性】	市民や事業者と協働して、ごみの減量化とリサイクルに取り組む仕組みとして、ごみダイエツトサポーター(廃棄物減量等推進員)を委嘱する予定であるが、意見交換やアイデア提案等の機会を創出し、再資源化拡大に向けた施策検討を行う。		
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 谷口 広幸	